CITIZEN

電波時計（掛時計） 取扱説明書

取扱説明書番号 M111-CXXW

～ 製品の特長 ～

●標準電波を受信して時刻を自動修正

お買い上げありがとうございます。
○ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
○この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品（電子回路等）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース・文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

発売元 **リズム時計工業株式会社**

本社 〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

お問い合わせ先 ■お客様相談室 フリーダイヤル 0120-557-005
受付時間 9:00 ～ 17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

お買い上げ製品に関するお問い合わせの際は、裏面に表示されている製品番号（型番）をお伝えください。 例 4MY○○○

（Y1001）

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所あります。
標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jjy.nict.go.jp)

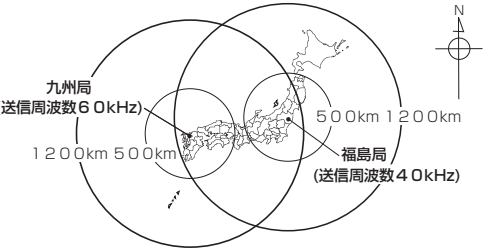
標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご使用はお勧めできません。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
●金属製の雨戸やブラインドの近く
●ビルの地下など
●高圧線、テレビ塔、電車の架構近く
●朝夕の時間帯、雨天のとき
●家電製品やOA機器の近く
●スチール机等の金属製家具の上や近く

安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

警告
「**死亡または重傷などを負う可能性が想定される**」内容です。

注意
この表示は、「**傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される**」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。（表示の一例です。）

禁止
してはいけない「**禁止**」内容です。

強制
必ず実行していただく「**強制**」内容です。

■誤飲による事故防止について

警告
小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

分解禁止
分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

注意
時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

■使用場所について

禁止
下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

●温度が+50℃(50度)以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。
●温度が−10℃(マイナス10度)以下になる所。電池性能が低下したり、プラスチックが劣化することがあります。
●浴室など湿気が多いところ。
●ほこりが多く発生するところ。
●テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●温泉場など、ガスの発生する所。
●多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
●軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水をやわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
●よごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
●静電気により時計および掛けた壁面が汚れることがあります。定期的に汚れを落としてください。

電池のご注意 （電池の正しい使い方）

電池ご使用上のポイント **正しく使って事故をなくしましょう**

●プラス+、マイナス−を間違えない。
●種類の異なる電池を混ぜない 。
●時計が動いていても、定期的に交換する
●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
●古い電池と新しい電池を混ぜない。
●電池を新しくするときは、全部まとめて取り替える。
●長期間使用しないときは、電池を抜いておく。
●幼児の手が届かないところに置く 。

電池の種類について

●製品は、電池の特性に合わせて設計されていますので、指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があります。一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。㊟ **アルカリとマンガン乾電池の混在使用は液もれの原因となりますのでおやめください。**
●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
●一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。
（例．Panasonic オキシライド乾電池）

取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するためにつぎのことをお守りください。

注意
●電池に傷をつけたり、分解しない。
●電池を充電しない。
●電池をショートさせない。
●時計を使用しないときは電池を取り外す。

液もれが起きてしまったとき

警告
電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

注意
もれた液に直接手で触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。
ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
●使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。
●買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。

電池の廃棄

●お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

注意
火に入れると破裂の原因となり危険です。

時計の廃棄

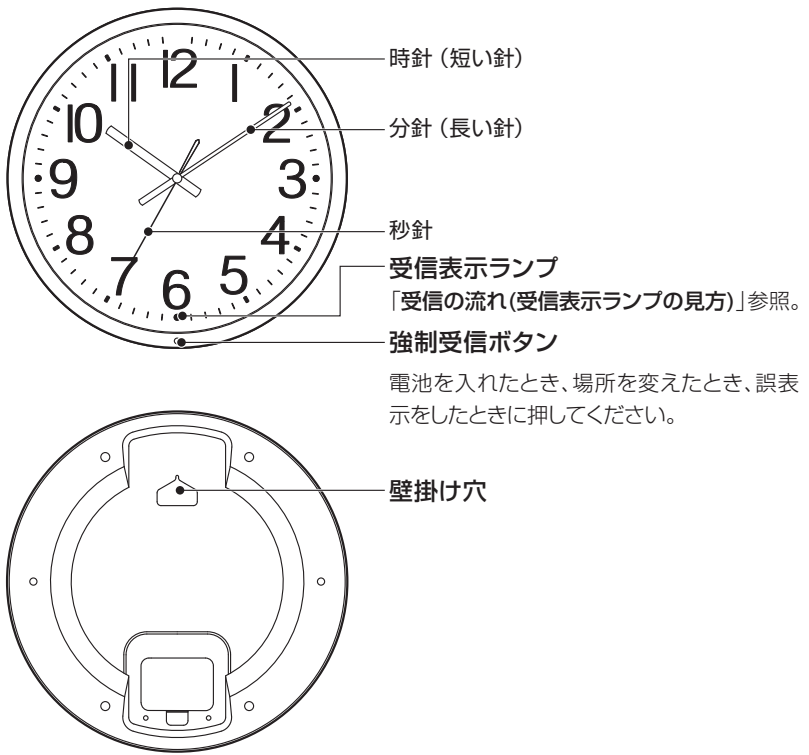
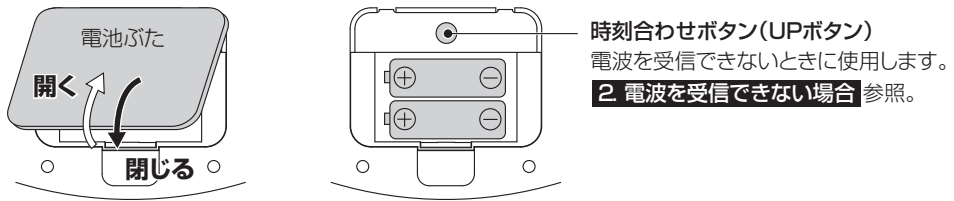
●お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

時針（短い針）
分針（長い針）
秒針
受信表示ランプ
「受信の流れ(受信表示ランプの見方)」参照。
強制受信ボタン
電池を入れたとき、場所を変えたとき、誤表示をしたときに押してください。

壁掛け穴

〈電池の入れ方〉

時刻合わせボタン(UPボタン)
電波を受信できないときに使用します。
2. 電波を受信できない場合 参照。

時計裏面の電池ぶたを外し、電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単3形マンガン乾電池2個を入れ、電池ぶたを取り付けます。

電池を逆向きに入れると、電池の液もれ、発熱、破裂の原因になります。

時針・分針・秒針の動き方

通常の時刻表示	自動時刻修正
時針・分針：10秒に1回動きます。	時針・分針：早送りで動きます。一時停止することもあります。
秒針：1秒ステップ。	秒針：早送りで動きます。12時位置に停止することがあります。

電波を受信できない場合

- **朝までそのままにしておく**
  一般的に夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。1～2日後に受信結果を確認してください。
- **場所を変える**
  電波の受信しやすい窓ぎわや電波の送信所（取扱説明書の日本地図を参考）に、なるべく時計の正面または裏面が向くような所を選び、強制受信ボタンを押してください。
  設置場所を決める前に、裏面の「**電波を受信しにくい環境**」をお読みください。
- **時刻合わせをして使用する**
  ベランダなど屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻合わせをしてからご使用ください。この場合、電波を受信できないため、時間精度はクオーツ精度になります。

受信できない場合は、手動で時刻合わせをすることができます。

手動時刻合わせ

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。手動で時刻合わせをするとクオーツ精度になります。

※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送りで動いている場合は、通常の針の動きになってから操作をしてください。

※手動で時刻合わせをしても、受信に成功すると自動的に時刻は修正されます。

時刻合わせボタン（UP）を押すと針が動き始めます。

○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。
○時刻合わせボタンを押しつづけると早送りします。
　秒針は、ボタンを押し続けているときに12時位置になると止まります。

秒針の動きについて
　時刻合わせボタンを離したときにゼロ秒になります。ボタンを離したとき、秒針が12時位置にないときには、早送りで時刻位置に移動します。

おもな製品仕様

常温での時間精度	受信成功時の表示精度（受信直後）秒針±1秒　時針/分針　目盛りに対して±3度 受信しないとき　平均月差　±20秒（常温中のクオーツ精度）
使用温度範囲	−10℃～+50℃
使用電池	単3形アルカリ乾電池　JIS規格　LR6　2個
電池寿命	約1年間（標準電波の受信に成功しているとき）
標準電波機能	標準電波を受信して時刻を自動修正
受信局	福島局/九州局自動選択
受信回数	1日に12回

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品　単3形アルカリ乾電池2個　木ねじ　1個　　取扱説明書　本書　保証書　　1枚

時計の使い方 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を受信しないで手動で時刻を合わせるときは、**電波を受信できない場合** の「**手動時刻合わせ**」を参照してください。

◎電波を受信しやすい窓際などでご使用ください。

❶ 電池を入れる 〈電池の入れ方〉参照

時計裏面にある電池ホルダーの⊕⊖表示に合せて入れてください。

❷ 強制受信ボタンを押す （電池を入れた直後に必ず押してください）

受信表示ランプが点灯し、受信状態になります。受信終了後、時針・分針・秒針が時刻を指します。
☞「受信の流れ（受信表示ランプの見方）」参照。
※受信中は、ボタン類を操作しないでください。
※受信中は、針が停止しますが故障ではありません。

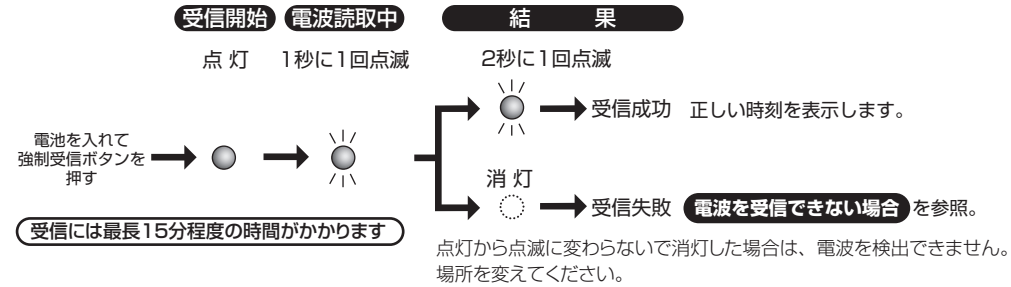
❸ 時計を掛ける

時計の掛け方 に従い、時計を確実に掛けてください。

❹ 受信結果を確認する

強制受信ボタンを押して15分経過したら、受信表示ランプの状態を確認します。
受信に成功：2秒に1回点滅→正しい時刻を表示
受信に失敗：消灯→ 電波を受信できない場合 へ
※受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。➡強制受信ボタンを押して再度受信させてください。
※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

受信の流れ（受信表示ランプの見方）

点灯から点滅に変わらないで消灯した場合は、電波を検出できません。場所を変えてください。

時計の掛け方

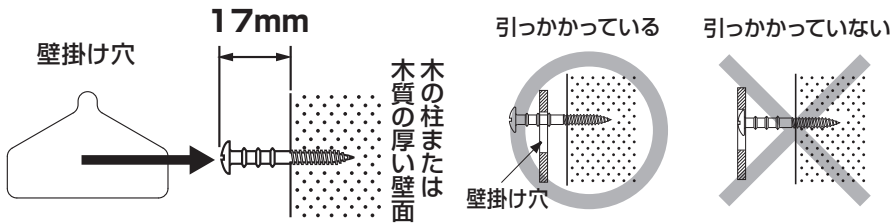
時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

強制

注意

○時計を垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
○時計を掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具（木ねじ）が確実に掛かっていることを確認してください。
○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
○ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
●木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

その他の壁面の場合

●上記以外の場所(石膏ボード、コンクリートなどの壁面)に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。**その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。**

Q&A こんなときには

Ⓠ針が反時計回りに動いたり、早送りで針が動いたままになる。
Ⓐ電池の残量が少なくなると、誤作動の原因になります。特に、「強制受信ボタン」を押したときや自動受信したときに発生しやすくなります。➡指定の新しい電池にすべて交換してください。

電池の交換について 早めに交換して液もれを防ぎましょう

注意

電池からの液もれにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防ぐために、つぎのことをお守りください。

●時計が止まったときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
●動いていても1年に1回定期的に交換する。
●古い乾電池と新しい乾電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混在して使用しない。
●電池の⊕⊖を逆に入れない。